

日本の速記130周年 『速記の日』展示・講演会

田鎖綱紀と速記130年の歩み



速記符号10方式による
雨二モマケズ
宮澤賢治
解説は、日本速記協会の
ウェブサイトにあります

終日

『速記の日』展示
速記者による速記サイン会
速記体験コーナー

11:30～ 文明開化期の速記講習会 (小谷征勝)

13:30～ 講演「岩手に速記文化の源流を探る」
～田中館愛橘の啓示と先達田鎖綱紀の活躍～ (兼子次生)

14:30～ 講演「三遊亭圓朝と『怪談牡丹燈籠』」
——速記本の消長と言文一致運動—— (三牧勉)

10月28日(日) 平成24年

午前10時～午後4時

盛岡市先人記念館 地下ホール

(盛岡市先人記念館入館料が必要です。)

主催／社団法人 日本速記協会

後援／盛岡市教育委員会

連絡先／社団法人 日本速記協会 03-3556-9559 <http://www.sokki.or.jp/>

日本の速記130周年『速記の日』展示・講演会

— 田鎖綱紀と速記130年の歩み —

田鎖綱紀が速記講習会を開催した日にちなみ、日本速記協会では毎年10月28日を「速記の日」としています。130年目に当たる本年、田鎖綱紀の生地盛岡において展示・講演会を実施し、広く盛岡市民に先人の偉大な功績を紹介するとともに、東日本大震災の復興に邁

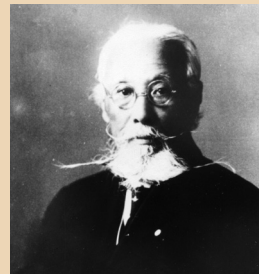
進する岩手に元気を提供することを目指します。

展示・講演会を通じて、日本語の速記が実用化されて以来、速記技能が日本の文化の中で果たしてきたさまざまな貢献について振り返り、今日的な速記の価値を考えます。

田鎖綱紀 たくさり こうき (1854年～1938年) 日本の速記の創始者

1854年(嘉永7年)8月15日、現在の盛岡市本町通に生まれる。大学南校(現：東京大学)で英語や数学などを学んだ後、鉱山寮へ就職する。1872年(明治5年)、工学博士ロバート・G・カーライルを介して英語の速記と出会い、日本語速記の開発を試みる。

1882年(明治15年)9月19日、「時事新報」紙上で日本語の速記を発明したことを発表した。同年10月28日、東京で、初めての速記講習会である「日本傍聴筆記法講習会」を開催、24人の生徒に自身の編み出した速記法を伝えた。速記発明、教授、完成普及の功により、1894年(明治27年)藍綬褒章授与。1896年(明治29年)終身年金下賜。



展示・関連行事(10:00～16:00)

音声を文字にしたら、こんなイノベーションが起きた!! 『速記の日』展示

- 田鎖綱紀の功績と日本の速記130年
- 歴史的な速記資料、速記者が書いた速記メモ、速記アート

これが速記だ! 音声をしとめる 速記を体験しよう

- 速記者による速記サイン会 お好きな言葉を複数の速記方式で書きます。
- 速記体験コーナー えっ、これだけ?速記符号に直すとこんなに簡単なんです。
- (10:45～)高速度速記&反訳実演 ぶっつけ本番!やっているとところをお見せします。

(田鎖式速記符号の例)



(11:30～)受講生募集! 130年前の世界にタイムスリップ 文明開化期の速記講習会

日本の近代化が始まった明治時代、田鎖綱紀が1882年に行った「日本傍聴筆記法講習会」を再現することにより、その業績をしのびたいと思います。

日本語の変遷、議事記録の作成に大きな影響を与えた速記技能を、皆さんとともに体験する機会になれば幸いです。

講師：小谷征勝 (日本速記協会みんなの速記担当理事)

神戸御影高校速記部にて早稲田・中根等複数方式になじみ、1965年速記士資格取得。1968年V式発表、翌年同式で検定1級合格。以降約40年、神戸市会会議録編集事務に従事。



記念講演会(13:30～)

(13:30～)

岩手に速記文化の源流を探る

～田中館愛橘の啓示と先達田鎖綱紀の活躍～

暗誦から文字へ、そして速記符号で発言を記録する時代を田鎖綱紀は実現させました。一方、田中館愛橘は、フランスの速記機械を持ち帰り、ローマ字運動家に日本語の機械速記の開発の課題を与えました。維新後、大学南校を踏み台にして、手書き速記と機械速記の発明を先導した2人の岩手県人が見せたパイオニアシップを取り戻そうではありませんか。

講師：兼子次生 (日本速記協会常務理事)

田鎖綱紀の孫、源一氏が命をかけた速記の国際交流を継承し、世界の速記研究者としてインテルステノで活躍している。高校時代に速記を学び、大学時代に速記の1級に合格して大阪府議会などで速記に従事。



(14:30～)

三遊亭圓朝と『怪談牡丹燈籠』

——速記本の消長と言文一致運動——

田鎖綱紀の速記講習会修了者が咲かせた大輪の華、それが明治17年に若林珪蔵と酒井昇造が速記した三遊亭圓朝『怪談牡丹燈籠』の「速記本」です。速記本は二葉亭四迷らの「言文一致運動」という文学の大革命も誘引しました。今回は、速記本の消長に見る我らの先輩速記者たちの活躍ぶりをたどります。

講師：三牧勉 (日本速記協会理事)

学生速記界の雄・関西大学速記部の出身で、兼子次生氏の1年後輩。史学科出身のゆえか、講談・落語「速記本」の歴史に興味を持ち収集を続けている、速記者の中では珍しい存在。



会場 盛岡市先人記念館 地下ホール
盛岡市本宮字蛇屋敷2-2 TEL: 019-659-3338

- バス 岩手交通「先人記念館行」終点「先人記念館前」下車
- バス 盛南ループ「総合プール前」下車 徒歩7分
- タクシー 盛岡駅から約10分
- 車 東北自動車道盛岡インターチェンジから約15分
マップコード 81 675 858
- 徒歩 盛岡駅西口(マリオス前)より約20分

連絡先 社団法人 日本速記協会
東京都千代田区麹町4-8-26 ロイクラトン麹町3F
TEL: 03-3556-9559 FAX: 03-6268-9549

<http://www.sokki.or.jp/>

企画担当：前野 qianye@nifty.com